

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第6195185号  
(P6195185)

(45) 発行日 平成29年9月13日(2017.9.13)

(24) 登録日 平成29年8月25日(2017.8.25)

(51) Int.Cl. F 1  
**B 6 5 D 25/02 (2006.01)** B 6 5 D 25/02 Z  
**B 6 5 D 25/34 (2006.01)** B 6 5 D 25/34 A

請求項の数 1 (全 5 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2017-77821 (P2017-77821)</p> <p>(22) 出願日 平成29年3月23日 (2017.3.23)</p> <p>審査請求日 平成29年4月17日 (2017.4.17)</p> <p>特許権者において、実施許諾の用意がある。</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 597164161 森園 利春 東京都世田谷区経堂5丁目37番13号</p> <p>(72) 発明者 森園 利春 東京都世田谷区経堂5丁目37番13号</p> <p>審査官 植前 津子</p>
--	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 一斗缶防災具

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一斗缶内部を防災食料備蓄スペースとして設け、一斗缶側面に備蓄品取り出し口を複数設け、一斗缶側面に上からの外圧に耐えられる補強材を複数設け、一斗缶の高さを介し床との空間確保維持を目的とし、フタを設けた一斗缶にカバーを掛けイスとしても利用できる構造としたことを特徴とする一斗缶防災具。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、就寝中地震により天井等上からの落下物を耐圧に強い一斗缶の高さのある構造を利用し床との隙間、空間を確保して頭、身体を保護することを目的とする地震災害に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、構造の大きなシェルター等があった。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

そのために、次のような問題点があった。

(イ) シェルターの設置は家の構造等の問題もあり限定的である。

天井等の落下から頭、身体を保護できる簡単な防災具はなかった。  
本発明は、これらの問題点を解決するためになされたものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

一斗缶側面に複数補強を設け、取り出し口を設け、蓋を設け、上からの圧力に潰れにくい構造からなる一斗缶の高さを介し床との隙間、空間を確保、一斗缶内部に防災食料備蓄室を設け、外部をイスに利用できる家具調とした。

以上を特徴とする一斗缶防災具である。

【発明の効果】

【0005】

上からの圧力に強く潰れにくい一斗缶防災具を部屋の隅等に数個備えることにより一斗缶の高さで床との隙間、空間が確保でき頭身体を保護できる。救助されるまでの間一斗缶の中に備蓄した水等を取り出し口から補給できる。ポケットに小物も収納、イスとしても利用できる。安価な一斗缶を家具調とした一斗缶防災具である。

【図面の簡単な説明】

【0006】

【図1】本発明の正面図である。

【図2】本発明にポケットのあるカバーを掛けた正面図である。

【図3】本発明を上からの断面図で防災品を備蓄する一斗缶内部を示す図である

【図4】本発明にポケットのあるカバーを掛けた姿図である。

【図5】本発明が就寝中側にあることにより天井等上からの落下物を一斗缶の高さが床との隙間、空間を確保でき身体を保護できる使用例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0007】

以下、本発明の実施の形態について説明する。

上からの圧力に対して耐圧の強い構造の一斗缶側面に更に強度を増す補強材を設け、缶の中に備蓄した防災品を取り出す取り出し口を側面に複数設けた。強度のある一斗缶の高さが床との隙間、空間を確保でき頭、身体を保護できる。救助されるまでの間備蓄の水分等で安心できる。普段は小物収納できるポケットのついたイスとしても利用できる家具調とした。

本発明は以上のような構成である。

これを使用するときは、缶の中に非常食を納め蓋をしてカバーを掛け室内の隅等に数個置く。天井等大きな落下物を一斗缶の高さが床との隙間、空間を確保でき頭、身体を保護してくれる。

【符号の説明】

【0008】

1 一斗缶

2 蓋

3 取り出し口

4 カバー

5 ポケット

6 クッション材

7 補強材

8 瓦礫

9 防災品備蓄室

【要約】

【課題】上からの圧力に対して潰れにくい耐圧の優れた一斗缶の高さ利用し、床とのすき間、空間を確保できる防災具を提供する。

【解決手段】一斗缶側面に複数補強を設け、取り出し口を設け、蓋を設け、上からの圧力に潰れにくい構造とした一斗缶の高さを介し床とのすき間空間を確保、一斗缶内部に防災

10

20

30

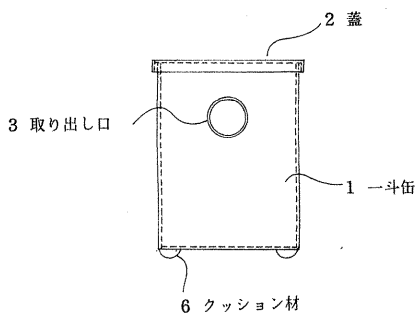
40

50

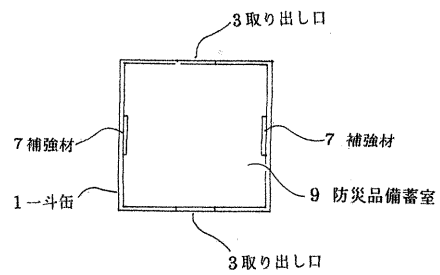
食料備蓄室を設け、外部をイスに利用できる家具調としたことを特徴とする一斗缶防災具。

【選択図】図5

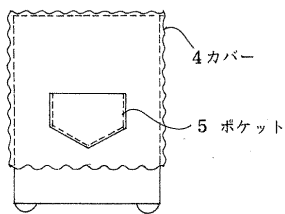
【図1】



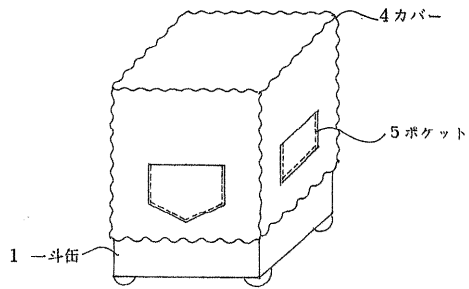
【図3】



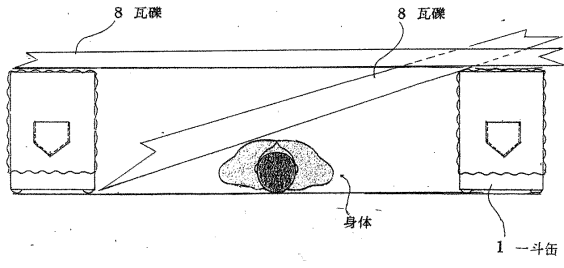
【図2】



【図4】



【图 5】



---

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2005-287848(JP,A)  
実開昭52-017105(JP,U)  
特開2001-151180(JP,A)  
再公表特許第2007/097389(JP,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 25/00 - 25/56  
A47C 9/00 - 13/00  
B65D 81/36